

3 根室市の産業

すいさんぎょう

(1) 水産業の様子

みなさんの中には、家の人魚をとったり、水産加工場で仕事をしている人がたくさんいると思います。

根室市は、まわりを海にかこまれ、サケやマス、こんぶなどがたくさんとれます。そのほかにも、さんまやいか、あさりホッキなど、豊かな海の資源にめぐまれています。

りょう

漁 ぎ ょ み

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
うにた	も採り								うに	潜水器	
			サケ・マス流し網				サケ・マス定置網				11/20 まで
						いか					
					さんま						
				こんぶ							
		ホッキ									
あさり											

① サケ・マス漁

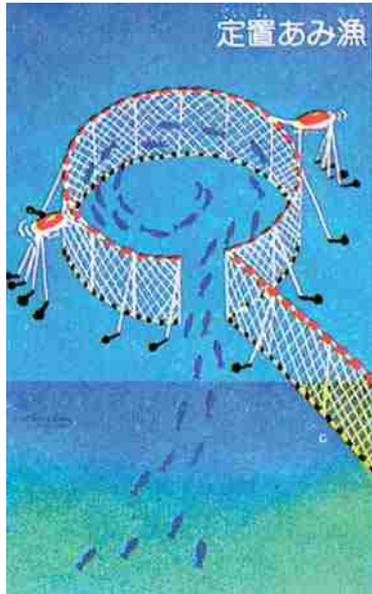
サケやマスは、春に北海道よりずっと北にある海から、だんだん南へ来て、秋ごろには、根室の近くの海へやってきます。



中部船

春に流し網という方法で魚をとる船は、5月ごろに何日もかかって、遠い北の海に出かけていきます。漁が終わるのは、7月ころです。何十日も沖で仕事をするので、どん

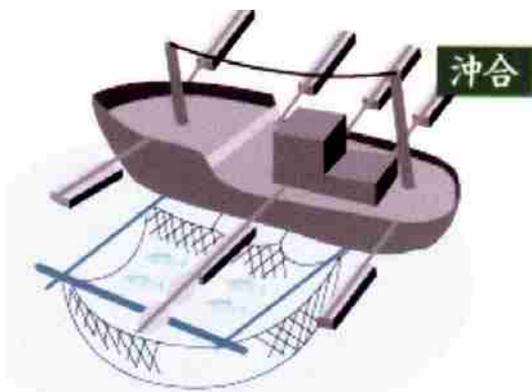
なきけんに出会うかわかりません。船に乗っている人たち



は、船の設備せつびや天気、また、健康けんこうにつねに気を配くばっています。

秋になると、サケやマスは、根室の近くの海へやってきます。近くの海では、定置網ていちあみという方法ほうで魚をとります。この漁は、9月から11月ころまで行われ、根室の魚市場うおいちばは、とったサケやマスでいっぱいになります。

② さんま・いか漁



さんま棒受網漁

さんまは、8月の終わりころ、根室の近くの海にやってきます。さんまをとる船は、夜にたくさんのあかりをつけて、さんまを船の近くまでさそいこみ、網でとります。花咲港はなさきこうには、北海道や遠くの本州などからもたくさん船が集まり、大変たいへんにぎわいます。とったさんまは、生しゅつかのまま出荷れいどうしたり、冷凍れいとうやかんづめにして、ほかの市や町へ運ゆしゅつばれたり、外国へ輸出ゆしゅつしたりします。



いか釣漁

いか漁も、7月ごろからはじまります。いかをとる船も、さんま船と同じように、夜にあかりをたくさんつけて漁をします。

③ こんぶ漁

太平洋側^{がわ}の落石から温根元までの海には、よいこんぶがたくさん育っています。あたたかい春になると、こんぶはだんだん大きくなり、6月ごろから漁がはじまります。



こんぶ漁船

こんぶ漁は、海のアれていない日をえらんで7、8メートルある長いさおでこんぶをまきつけ、船にあげます。そして、家の人みんなでこんぶ干場^{かんば}とよばれる広いところに干^ほします。また、天気の悪い日は、乾燥機^{かんそうき}のある小屋に入れて乾燥します。



こんぶ干場

こんぶ漁は、6月から10月の終わりまで行われます。夏の暑い日に、こんぶを干したり、夜おそくまでこんぶの整理をするのは、大変な仕事です。

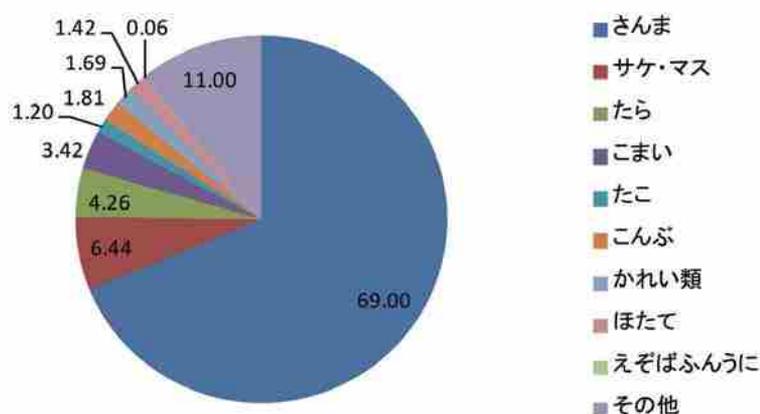
④ 氷下待網漁^{こおりしたまちあみりょう}

1月から3月にかけて、風蓮湖や温根沼で行われている^{ぎょほう}漁法で、こまいやちか、にしんやわかさぎなどがとれています。それ以外の季節は、待網漁をしています。



氷下待網漁

平成24年度魚種別水揚げ割合(%)



□□ すいさん か こうじょう 水産加工場を見学しよう □□

根室市では、水産加工品が特に有名です。いろいろな水産加工品がある中で、「サケフレーク」を調べてみましょう。

係の人に案内していただきながら、工場の中を見学しました。「たくさんとれた魚をそのまま商品にしたり、塩づけや冷とうにして遠くに運んだりしている。」と説明してくれました。また、たまごを味付けをしたりして「加工」して運んでいることも知りました。その中で、サケフレークがどのようにつくられているのか、くわしく見せてもらいました。

【工場見学の調べ方をノートに書こう】

◎調べてくること

- 1・つくりかたについて
 - ・どのようにつくられているのか。
 - ・原料は、何を使うのか。
 - ・どのような道具や機械を使うのか。
- 2・働く人について
 - ・働く人の数はどれくらいか。
 - ・どういう服装なのか。
 - ・働く時間はどれくらいか。
- 3・サケフレークについて
 - ・1日にどれくらいつくるのか。
 - ・ほかにどんなものをつくるのか。
- 4・調べ方
 - ・工場の様子を観察する。
 - ・工場の人に話を聞く。

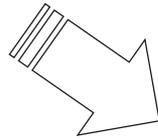


サケフレーク工場

□□ サケフレークができるまで □□



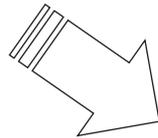
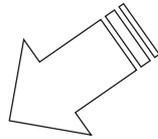
①むす



②皮をはぐ



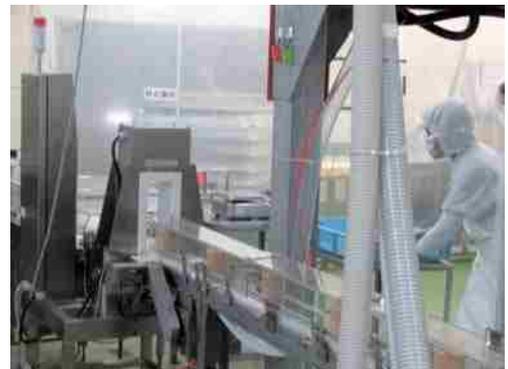
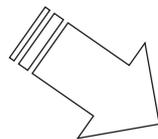
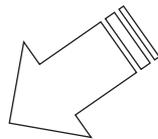
③手で小ぼねをとる



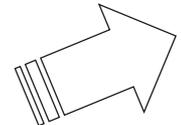
④身をほぐして一度やく

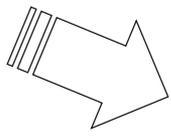


⑤味付けをしてまぜる

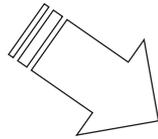


⑥機械でびんにつめる





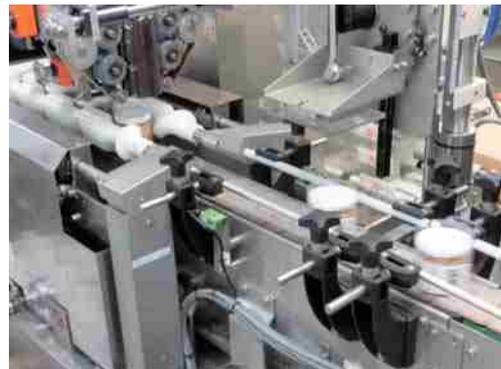
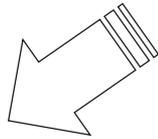
⑦金属が入っていないか検査する



⑧機械でふたをしめる



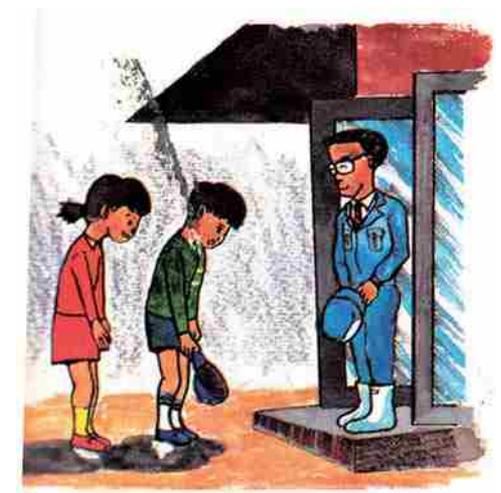
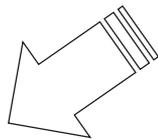
⑨殺きんする



⑩機械でほうそうする



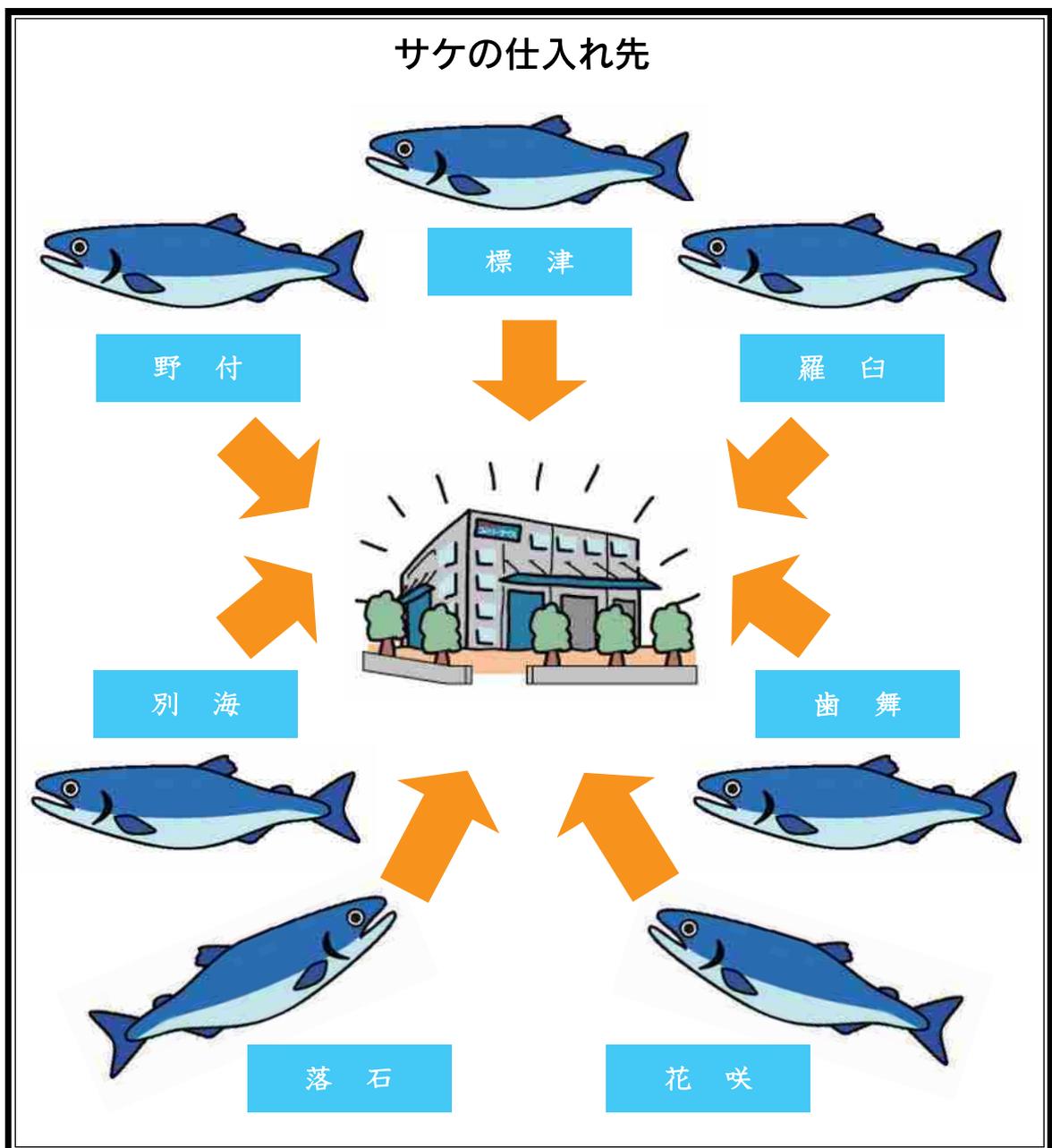
⑪人の手でほうそうし完成



ありがとうございました

工場では、サケやさんまを塩づけにしたり、いくらやたらこなどを味付けしたりして、せい品をつくる仕事をしています。

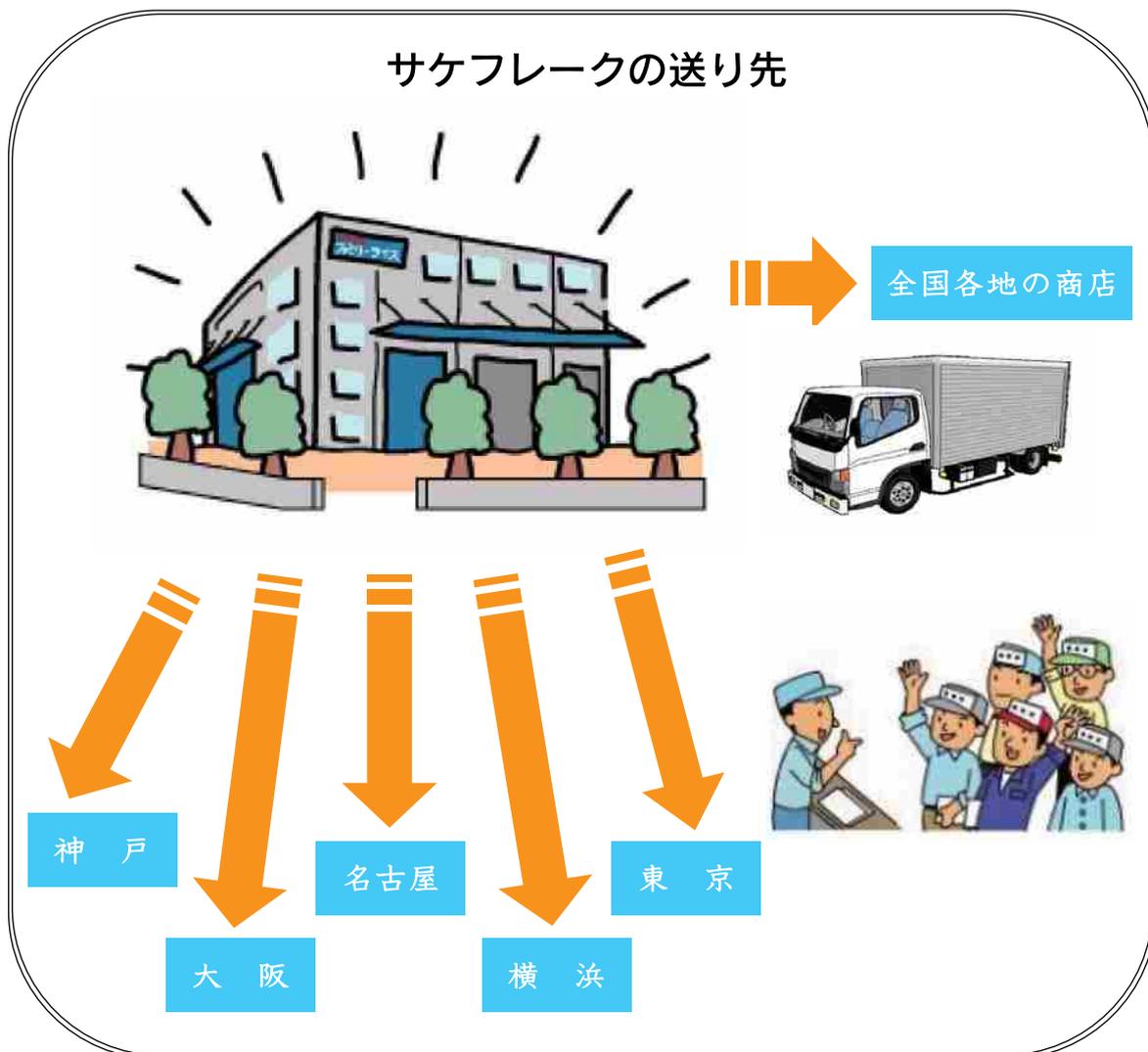
サケフレークをつくるときは、1日に2.5トン（1トン＝1,000kg）から3トンくらいのサケを使います。原料のサケは、そのほとんどが北海道でとれたサケを使っています。そのサケをたくさん仕入れて、魚がとれなくなる冬でも仕事ができるように、大きな冷蔵庫れいぞうこにしまっています。



1日につくられるサケフレークの量は、24こ入りのはこで500ぱこくらいです。多いときはもっとたくさんのサケフレークをつくります。

サケフレークは、今から30年ほど前に根室でつくられた根室を代表する加工品です。それらは、きれいなラベルがはられ、市内の店に運ばれたり、日本各地へ運ばれていきます。

遠くの市に運ぶときには、トラックの保冷車を使い、夜中まで走って運びます。かつては、とどけるまでにたくさんの時間がかかっていましたが、現在は高速道路が発達したために、はやく運べるようになりました。



調べたことをポスターにまとめよう

ポスターに自分たちが調べたことを、上手にまとめてみましょう。

●工場ではたらく人……130人くらい

工場が4つあったので、1つの工場で働いている人は30人くらいです。

工場では白い服を着て、ごみやほこりが入らないように気をつけています。



エアシャワーで、体についたごみやほこりをとります。

●工場内の機械

工場の中にはたくさん
の機械がありました。一

番おどろいたのは、ふれていないのにふたに印字される機械
でした。ほかには、魚をむす機械などもありました。



工場で働いている様子

工場を見学して、た
くさんの工夫をしてい
たり、苦勞をしている
ことがわかりました。



(2) 酪農らくのうのようす



牛の放牧



牛舎・牧草ロール

根室市では、「酪農」がさかんに行われています。酪農とは、「牛をかって牛乳をしぼる」仕事で、人間が8,000年げんざいも前から現在までつづ続けている仕事です。下の表を見ると、牛は11,000頭くらいいます。土地は牧草地に利用しているところがほとんどです。にゅうようぎゅうぎゅうにゅう※乳用牛(牛乳をつくるための牛)

農作物の土地利用

種類	面積 (km ²)	
	昭和60年度	平成18年度
牧草	9,000	9,570
野菜その他	29	10

(農林水産省北海道農政事務所 引用)

牛の頭数

種類	頭数 (頭)	
	昭和60年度	平成22年度
乳用牛	12,408	11,473
肉用牛	410	626

(根室市役所情報管理課資料 引用)

根室市の土地の広さの五分の一ていどが牧場の土地として使われています。

それでは、実際に牧場に行き、次のことを調べてみましょう。

- 酪農の仕事とは、どのような仕事なのかな？苦勞はあるのかな？
- 牛乳の行き先は、どんなところかな？

① 酪農家の1日の仕事

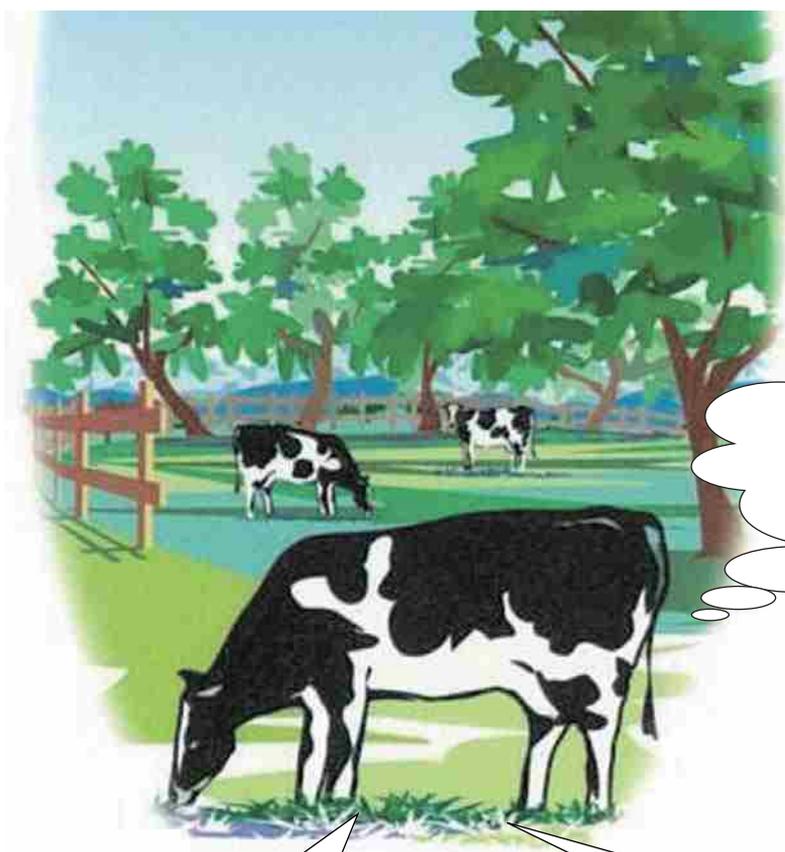
午前 4	起きる	
5		<ul style="list-style-type: none"> 牛舎の掃除 
6	搾乳	<ul style="list-style-type: none"> えさや水やり
7		<ul style="list-style-type: none"> さくにゅう 搾乳（乳しぼり） 
8	朝食 休けい	
9		<ul style="list-style-type: none"> 子牛のえさやり
10	農作業	<ul style="list-style-type: none"> そうじ
11		<ul style="list-style-type: none"> 牛舎から放牧地へ牛をはなす
12		<ul style="list-style-type: none"> 牧草のかり取り（夏の間） 
午後 1	昼食 休けい	
2		<ul style="list-style-type: none"> 牧草のかり取り（夏の間）
3	農作業	<ul style="list-style-type: none"> かり取った牧草をロールにする 
4		<ul style="list-style-type: none"> 牧草地から牛を牛舎にもどす
5		<ul style="list-style-type: none"> 牛舎の掃除
6	搾乳	<ul style="list-style-type: none"> 搾乳 えさやり
7		<ul style="list-style-type: none"> 機械あらい 牛舎の整理 
8	夕食	
9	だんらん	
10	寝る	

酪農の仕事は、牛を育てて乳をしぼり、牛乳を出荷^{しゅっか}することがおもな仕事です。酪農家は、朝早くから夜遅くまで^{おそ}仕事があります。朝と夕方の2回、毎日搾乳^{さくにゅう}します。人の飲み物や食べ物をあつかう仕事なので、衛生に気をつけています。酪農家の入口には、牛が病気にならないように石灰をまいています。

また、生き物が相手なので、病気の心配や子牛が生まれるなど、ほかにもたくさん仕事があります。このように、酪農の人たちは、1日も休むことなく働いているということがわかりました。



乳牛^{じゅさい}の実際 (モデル図)



体重：600～700kg
ミルク1日：25kg

1日のえさの量：400kg

エサ：イネの仲間、豆の仲間の草
配合飼料（トウモロコシ・大豆）

② 根室市の乳牛は牧草100%

根室市の乳牛は、配合飼料しりょうにたよることが少ない全国でも珍しい牧草100%で育てている牛がたくさんいる地域ちいきです。

牧草100%のため、味が非常ひじょうによく、根室や別海べつかい、中標津にゅうぎょうには乳業工場があります。

③ 根室の酪農家がへってきている

根室市内は、平成10年には137戸の酪農家がありましたが、平成22年には97戸にへってしまいました。

かつては、家族で酪農を行っていたが、後継者不足こうけいしゃなどで離農（牧場や畑をやめていくこと）していく人が多かったです。

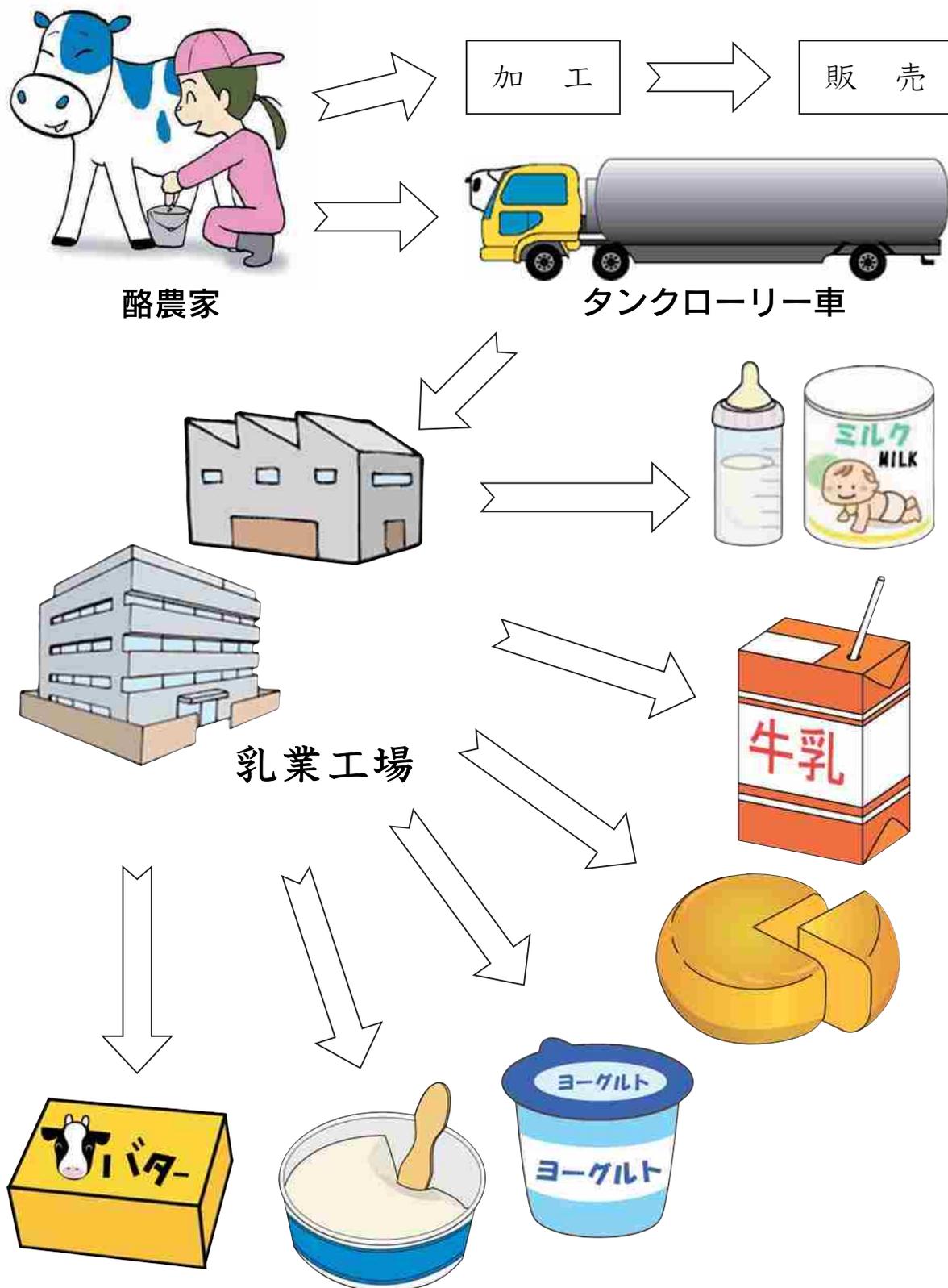
④ 牛乳の行き先

もう一つの課題かだいである「牛乳はいったいどんなところに行っているのか」についても調べてみましょう。

ミルクカーという機械を使って搾乳します。つながれた牛に機械を持って行く「パイプラインミルクカー」や、搾乳室に牛が集まって搾乳する「ミルクキングパーラー」、放し飼い牛舎（フリーストール）に設置された搾乳ロボットに牛が近づいて搾乳する方法などがあります。

最近では、ミルクキングパーラーや搾乳ロボットが増えてきています。しぼられた牛乳はパイプの中を流れ、バルククーラーの中に入ります。

このしぼった牛乳は、タンクローリー車に集められて、乳業工場に運ぶことがわかりました。また、運ばれた牛乳からは、わたしたちの食生活に必要なせい品ひつようがつくられていることもわかりました。



4 昔のくらし

(1) 伝統的な行事

でんとうてき
根室市には、
たくさんのお祭
りがあります。

毎年7月中旬
に行われる「ね



ねむろ港まつり「千人踊り」

むろ港まつり」, 9月上旬に行われる「根室かに祭り」,



根室かに祭り

9月中旬に行われる「根室
さんま祭り」, 10月上旬
に行われる「根室産業フェ
スティバル」などの祭りで
す。



根室さんま祭り



根室産業フェスティバル

また、かつては北海道三大祭りのひとつとして数えら
れていた「ことひらじんじゃれたいさい金刀比羅神社例大祭」などもあります。

このように、根室市の祭りにはたくさんのものであり、昔から今まで長く続く踊りおどがあります。昔から今に至るいたまでにずっと変わらず引き継がれてきた踊りなどのことを、「伝統芸能でんとうげいのう」といいます。根室市の伝統芸能を調べてみましょう。

根室市と伝統芸能

根室市の伝統芸能を調べてみると、いろいろな地域に踊りがあることがわかりました。



山登りと大人による酒樽取り

その中で、無形文化財に指定されている瑠瑠瑠地区の「瑠ご



瑠よう瑠まい瑠し獅子しかぐら神楽」について調べました。

瑠瑠瑠小学校へい（平成25年3月末日閉せい校まつじつへい）では、3年生からこの踊りを覚えて、お祭りや学芸会がくげいかいで踊っていたそうです。

また、根室市総合文化会館そうごうで行われている大会にも参加していたそうです。

瑠瑠獅子神楽について

瑠瑠獅子神楽は、大正2年、齒舞の光明寺建立の式典で披露されたのをきっかけに、90年以上瑠瑠地区の郷土芸能として定着しました。（根室新聞 平成18年10月18日より抜粋）

瑠瑠獅子神楽は、富山県黒部市（姉妹都市）からこの根室の瑠瑠地区に伝わってきました。瑠瑠神社祭典（10月）をはじめ、市の邦楽舞踊会等で披露しています。昭和42年に、後継者の育成と継承を目的に「瑠瑠獅子神楽保存会」が結成されました。

また、昭和53年には、「瑠瑠獅子神楽保存会子ども会」が結成され、小学校の授業の中でも取り組むようになりました。

瑠瑠獅子神楽保存会の歩み

- 昭和43年 根室市文化奨励賞受賞
- 昭和44年 根室市文化財（無形文化財）の指定
- 平成18年 北海道文化財保護功労者（団体）受賞

瑠瑠獅子神楽の踊り（小学生）

- ・大神楽・傘踊り・手踊り・長棒・酒樽取り



小学生による手踊り



小学生による酒樽取り

(2) 昔の道具

根室市立花咲港小
学校の隣に、「根室
市歴史と自然の資料
館」があります。そ
こには、昔の道具が
たくさん置いてあり、
根室市の歴史について学習することができます。



① 昔の道具を調べよう



昔の道具と言っても、どんなものがあるのでしょうか。学校に置いてある昔の道具を探してみましよう。

昔の道具にはいったいどういうものがあるのか、調べてみました。



【昔のアイロン（炭火アイロン）】
今のアイロンとちがって、全部鉄できています。炭火を中に入れて、その熱でしわをのばす道具です。



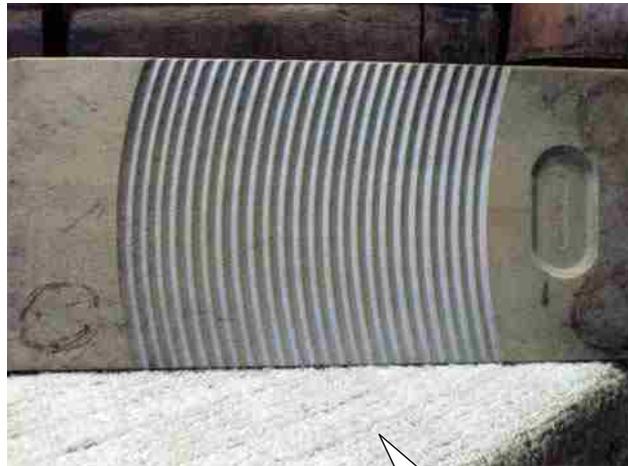
【はがま（お米をたくもの）】
昔は、火にかけてごはんをたいていました。



【昔のストーブ】
昔の灯油式ストーブです。



【昔の電話】
携帯電話もない時代で、手前のハンドルを回して使う電話です。



【洗濯板】
洗濯機がない時代、洗濯はこれで行っていました。



【火ばち】
昔のストーブに近いですが、なんでも使える万能の道具でした。



【カメラ】
カメラは光を取り入れるようにできており、長時間かけてとるものでした。



(根室市歴史と自然の資料館 所蔵)

これは、根室市で昔使われていた「スケート」です。みなさんが知っているスケートとはちがいますよね。

【氷切り】

昔は、^{れいぞうこ}冷蔵庫がなかったので、氷を地面にうめて夏の間に出して、切っていたそうです。



5 安全なくらしとまちづくり



テレビや新聞では、毎日のように交通事故のことが話題になっています。根室市で起きた交通事故のことをくわしく調べ、安全なくらしとまちづくりについて考えましょう。

(1) 事故・事件のないまちづくり

① 表を見て考えよう

根室市で起きた交通事故^{こうつう}について、表を見てわかったことや考えたことを話し合ひましょう。

根室市で起きた交通事故の件数（根室警察署提供）

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
705件	674件	606件	657件

交通事故の原因には、いろいろなものがあります。車1台だけの単独^{たんどく}事故だけではなく、車同士の衝突^{しょうとつ}事故、車と人、車と自転車、車と鹿^{しか}との衝突事故があります。

交通事故の原因（平成24年）

事故の原因	事故の件数	事故の原因	事故の件数
人と車の衝突	11件	車だけの単独事故	277件
自転車対車の衝突	6件	鹿との衝突・その他	78件
車同士の衝突	284件	その他	1件
(根室警察署提供)		合計	657件

車と人や自転車との接触^{せつしょく}事故、追突^{ついでつ}事故のことを「人身^{じん}事故」といいます。

根室市で起きた人身事故の件数（根室警察署提供）

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
28件	27件	28件	26件

人身事故の原因（平成24年）（根室警察署提供）

交差点での出会い頭	直線対向はみ出し	追突事故	その他
8件	8件	7件	3件

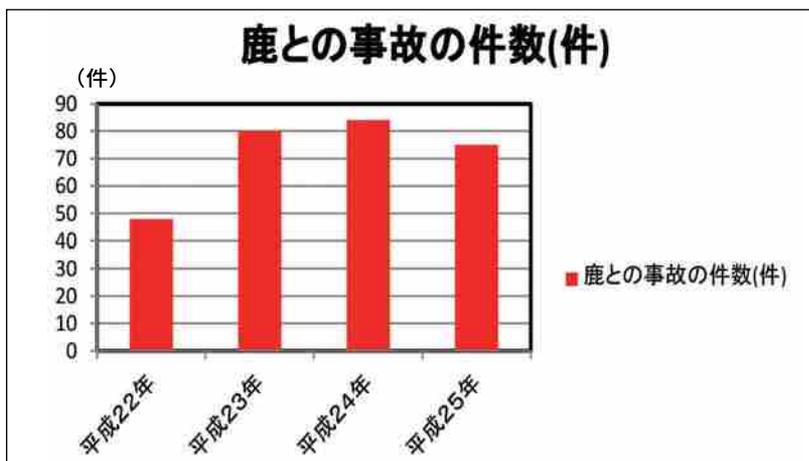
また、まちから離れた郊外の直線道路で、反対車線にはみ出した車が正面衝突する事故で人が亡くなる大きな事故も多く発生しています。

根室市で起きた交通事故の死者数（根室警察署提供）

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
0名	2名	1名	3名

② 事故を防ぐために

根室市の交通事故の特徴は、鹿との衝突事故があることです。鹿が出没しやすい時間帯は、午後4～8時の日没と午前4～6時の夜明け前後です。衝突事故は、10月～1月の秋冬と、4月の春先に多発します。



③ 警察署をたずねて調べよう

◆ 110番通報の仕組み

110番通報は、警察本部の通信指令室で受け取ります。110番の通報があると、事件や事故現場の近くにいるパトカーなどに無線で連絡して、すぐに現場に向かわせます。



110番通報

緊急時には、あわてず、落ち着いて通報してください。

- ① 何があったか（交通事故、けんか、強盗など）
- ② いつ（発生した時間）
- ③ どこで（場所、近くの目じるしなど）
- ④ どんな事件か（けが人がいるか、様子）
- ⑤ 通報者のこと（名前、住所、電話番号など）

根室警察署では、交通事故を防ぐためにいろいろな活動をしています。



【交通安全よびかけ活動】

・交通事故が多発する時期に、交通事故抑止活動として、国道44号線で「旗の波運動」を実施しています。ドライバーに交通安全・交通事故防止を呼びかけました。



【バイクの日】

根室市役所や根室相互自動車学校などが合同で、ライダーが多く来る納沙布岬駐車場で、啓発活動を行いました。根室市が作成した「三角フラッグ」をライダーに手渡し、安全運転を呼びかけました。



【交通安全教室】

北斗小学校では、毎年春に交通安全教室を行っています。横断歩道のわたり方や、正しい自転車の乗り方を教えました。

④ くらしの安全を守る警察署

根室市では、自転車盗難^{とうなん}や車上ねらいが多く発生しています。そこで、自転車盗難^{ひがい ぼうし}の被害を防止するために、自転車^{ちゆうしゃ}を駐車するときには、必ず鍵^{かぎ}をかけることが大切です。いつでもどこでも注意が必要です。



【交番の警察官の話】

交番の警察官の仕事は、みなさんが住んでいる地域を守るため、パトロールや家庭訪問などの巡回連絡、落とし物や拾われた物の受けとりを行っています。ほかにも、道案内をしたり、事件・事故があれば真っ先にかけつけます。



【児童との防犯レター作戦】

根室市内の小学校で、子どもたちの祖父母^{そふぼ}に振り込めさぎ被害防止のメッセージを書いた手紙を送る「防犯レター作戦」を行いました。

⑤ 地いきの人たちの取り組みを調べよう

交通事故や事件をふせぐために、根室市の地いきの人たちの取り組みを調べました。



朝のあいさつ運動



【事件にあわないために大切なこと】

- ① 知らない人について行かない。
- ② 一人では行動しない。
- ③ 知らない人に連れて行かそうになったら、大声で助けを呼ぶ。
- ④ 遊びに行く時も防犯ブザーを持ち歩く。

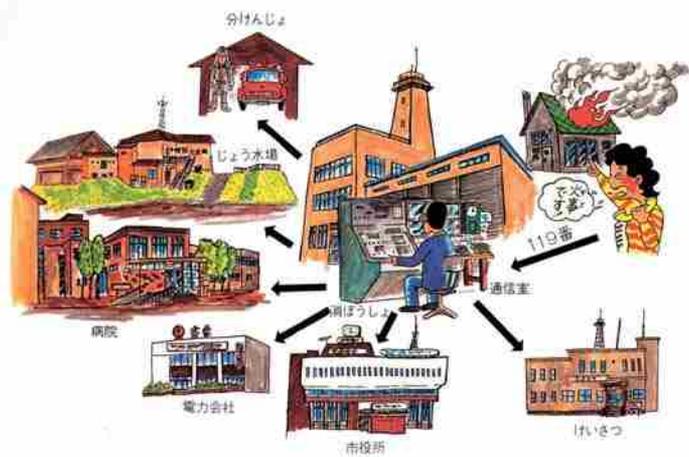
⑥ 危険な場所って、どんな場所？

それぞれの小学校の通学路には、「地いき安全マップ」というものがあります。『事故が起こりやすい危険な場所』がどこにあるのかをまとめているものです。

みなさんも自分の地いきを歩いて、どこに危険な場所があるのかを調べてみましょう。

(2) 火事を防ぐ

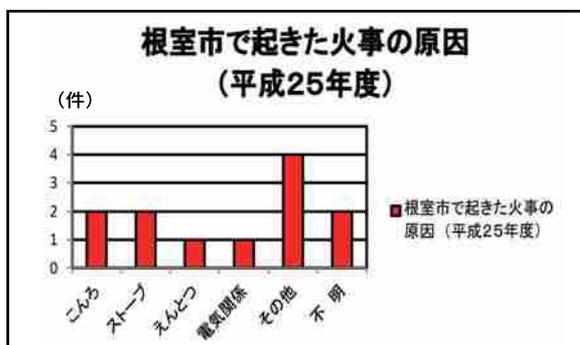
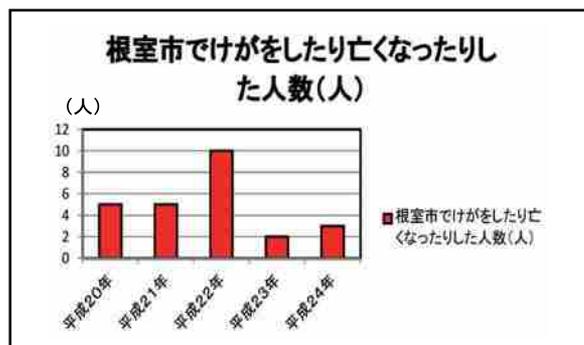
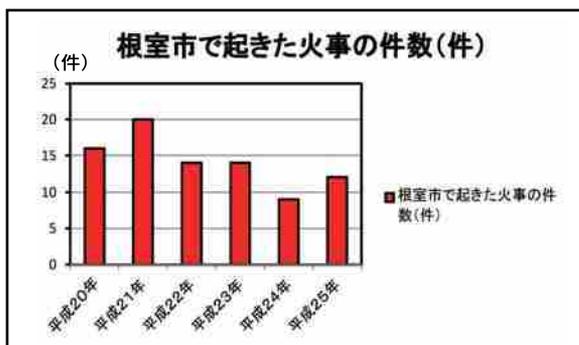
わたしたちの生活に欠かせない大切な「火」も、使い方をまちがえると多くの人々の命や財産を失う、大きな災害になります。



① 火事について調べよう



根室市では、どれくらいの火事が起きているのでしょうか。グラフを見て考えてみましょう。



根室市では毎年火事が発生し、けがをしたり、亡くなったりしている人もいます。また、全国的に1年間で火事が多い季節は、秋から冬にかけての時期です。こんろやストーブが一番の原因となってい

ての時期です。こんろやストーブが一番の原因となってい

ます。もっとくわしいことを調べるために、^{しょうぼうしょ}消防署を見学してみましよう。

仮眠室



② 消防署を見学しよう

根室市消防署には、消防士が68人（平成25年）います。

いつでも安心してくらせるように、24時間勤務し、（午後9時～午前6時までの中で2回の交代）いつでも出動

^{たいせい ととの}態勢を整えています。

消防署内は、二階建てで、一階には車庫、^{かみんしつ}仮眠室、食堂や風呂もあります。二階には^{つうしん}通信室や^{じむしつ}事務室があります。



根室市消防本部（署）【平成23年10月建設】車庫には、^{きゅうきゅうしゃ}救急車や水そう車、^{きゅうじょ}救助工作車など、全部で13台あります。（平成25年）



【消防署の仕事】

- ・火事を消す
- ・けが人や病人を救急車で病院に運ぶ
- ・消火栓や防火水そうの点検
- ・ホテルや病院、お店、学校などの消火器や自動火災報知設備、スプリンクラーなどの点検
- ・お年寄りのお宅を訪問しての防火指導
- ・災害訓練や道具の取り扱いの確認
- ・はしご車操作訓練
- ・消防車両運転訓練
- ・救助訓練
- ・救急訓練
- ・その他



通信室で待機する消防署員

消防署の中にある通信指令^{しらい}室には、24時間2人が、いつ119番の通報^{つうほう}を受けてもよい体制で待機^{たいき}しています。通報を受けると、短い時間で、どこでどのようなことが起き

ているのかなどをしっかりと聞きとらなければなりません。



10kgの防火服

通報を受けたら、約40秒で防火服を着て、空気マスクとボンベをつけ、消防車に乗りこみ、現場に向かいます。

現場に行くと、何が起こるのかわからないので、火事の状況を見て消火活動を行います。けむりで目の前が見えないときは、声を出し合いチームワークの見せどころです。

もし、根室市の消防車で間に合わないときは、近くの町（別海町や中標津町、浜中町、厚岸町）からの応援^{おうえん}もあります。

消火活動イメージ図





救急自動車（救急車）

ほかにも、救急車が出動します。救急車には、たくさんの道具が積んであります。

事故じこが起きた場合は、救助工作車が出動します。救助作業で使用するたくさんの道具が積

んであります。

また、救命きゅうめいボートや救命きゅうめい胴衣、空気じこの力で事故車じこしゃを持ち上げるためのマット型空気ジャッキ、火事けむりのときに煙を外に出した

り酸素さんそを送ったりする送風機など、どんな場面でも救助作業じゅんびをすることができるように準備してあります。



救助工作車



【消防車が赤いのはなぜ？】

法律で、消防車の色は赤色、救急車の色は白色と決まっています。理由は定かではありませんが、最初に外国から来た消防車が赤色であったからというのが一般的理由のようです。また、赤は注意をひく色であり、炎を連想させ警戒心を起こさせるなどの理由もあります。

③ ドクターヘリコプター

根室市では、平成21年（2009年）10月5日からドクターヘリコプター（ドクターヘリ）が導入どうにゆうされました。



ドクターヘリが飛んでいるところ

ドクターヘリは、いし 医師と かんごし 看護師が乗った空を

飛ぶ救急車とも言えます。市立根室病院で手当てできない緊急の病氣や大けがをした市民を、根室市防災ヘリポートなどから市立釧路総合病院や釧路孝仁会



ドクターヘリが着陸しているところ

記念病院などにわずか

18～20分間で運んでくれます。ドクターヘリが導入されてから、今までは助からなかった命が救われています。

【ドクターヘリ離発着場り はっちやくじょう】

根室市防災ヘリポート、コミュニティセンターあさひ駐車場、道の駅スワン44駐車場、各小・中学校グラウンドなどの合計24か所が指定されています。

④ 学校の消防設備を調べよう



学校は、どうやって火事から守られているのかを調べることにしました。どんな消防用設備があるのかを、学校の中を歩いて調べてみましょう。

ア. 火災が発生したときの初めの消火に使う消火器や屋内消火栓

イ. 火事の発生を校内に知らせる自動火災報知設備や非常警報設備

ウ. 避難時に必要な誘導灯や誘導標識、避難器具

また、災害時の対応（役割分担）を書きこんだ消防計画を作成しています。災害時に、



消火器

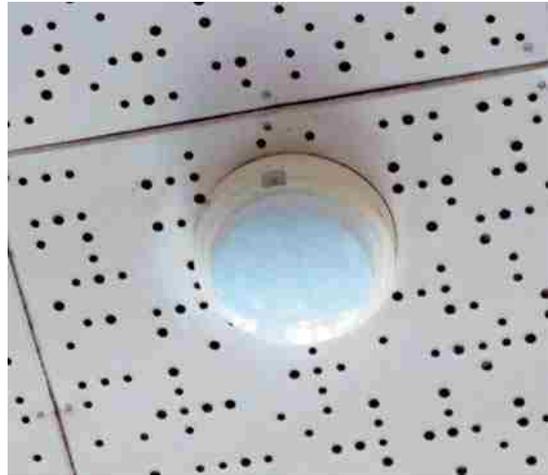


火災報知機

消火班、避難時の誘導班、消防に連絡する通報班などに分担し、一人の犠牲者も出さないようにします。ほかに、年に2回以上の通報訓練や避難消火訓練などを行っています。



けむりたんちき
煙探知器



ねつたんちき
熱探知器



受信機



消火栓

職員室にある受信機は、ほかの消防設備とつながっています。異常を受信して、異常のある場所のランプが点滅して知らせます。

⑤ 地いきの消防施設を調べよう

根室市の消火栓は368基あり、
防火水そうは71基あります。(平
成25年3月現在)

一般的には消火栓の色は赤ですが、根室市の消火栓は黄色です。消防署に理由をたずねると、霧の中でも見えるようにするためだそうです。



消防署が遠い地域のために、水そう付消防ポンプ自動車と消防団をいつも置いています。

消防団の団員は、普段は漁業や商店などでそれぞれの仕事をしています。火災が起きると、消防署の人たちと一緒に消火活動を行います。そのほかにも、消火訓練や消火施設の点検などを消防署の人たちと協力して行っています。

根室市の消防団（平成24年度）

	人数	担当する地区		人数	担当する地区
団体本部	14		第5分団	35	落石・昆布盛等
第1分団	30	花咲通りから東	第6分団	45	厚床・別当賀等
第2分団	30	花咲通りから西	第7分団	39	友知・双沖等
第3分団	29	花 咲 港	第8分団	39	歯 舞 等
第4分団	34	和田・幌茂尻等	第9分団	39	瑠 瑤 瑠 等

そのほかに、町内会では『自主防災組織』をつくり、防
災訓練をしたりしています。また、根室市学校防災等連
絡会議が行われたり、市全体では、毎年総合防災訓練が
行われ、消防職員のほか、多くの市民も参加しています。

咲港^{とうたつ}に到達し，最大の波の高さは339cmを記録しました。死者1名，浸水^{しんすい}39棟，水産被害額^{むね ひがいがく}2千4百万円でした。

◎1973年(昭和48年)6月17日 根室半島沖地震

昭和48年6月17日の12時55分，根室半島南東沖を震源とする地震が発生しました。釧路と根室で震度5を観測し，地震発生から11分後の13時6分



津波により道路に押しあげられた船に北海道太平洋沿岸，それから7分後の13時13分に，



緑町：集合円筒が車に落ちる

東北地方の太平洋沿岸に津波警報がそれぞれ発表されました。

花咲港で最大280cmを観測したのをはじめ，太平洋沿岸各地に津波が到達しました。重傷

者3名，軽傷者19名，住宅全

壊^{かい}2戸，一部破損^{はそん}5，034戸，津波による浸水61戸，被害総額18億9千7百万円でした。

◎1994年(平成6年)10月4日 北海道東方沖地震

平成6年10月4日の22時22分，根室半島沖約200kmの地点を震源とする地震が発生しました。根室で震度5を観測し，22時28分に，北海道の太平洋沿

岸に『津波警報』及びオホーツク海沿岸に『津波注意報』が発表され、花咲港で173cmを観測しました。



図書館

重傷者8名，軽傷者42名，住宅全壊17棟，半壊271

棟，一部破損1，533棟，床上浸水2棟，漁船破損1

2隻等の水産被害があり，被害総額178億6千5百万円でした。

沿岸住民に避難勧告が出され，別当賀から初田牛，西厚床の一部で停電し，市内全域9，

450世帯が断水しました。



道道根室半島線

◎2011年（平成23年）3月11日 東日本大震災

東日本大震災は，平成23年3月11日の14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震と，それにともなって発生した津波，その後の余震により引き起こされた大規模地震災害のことです。宮城県牡鹿半島の東南東130kmの太平洋の海底が震源です。地震の規模はマグニチュード9.0で，日本周辺における観測史上最大の地震です。

この地震により，場所によっては波高10m以上の大津波が発生し，東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生しました。また，巨大津波以外にも，

地震のゆれや液状化現象^{えきじょう か げんしょう}，地盤沈下^{じ ばんちん か}，ダムの決壊^{けっかい}などによって，北海道南岸から東北を経て東京湾を含む関東南部に至る広大な範囲で被害が発生し，各種ライフラインが寸断されました。

根室は震度2でしたが，大津波警報が出され，避難所が開設されました。沿岸の住民に避難指示が発令され，約2，900人が避難しました。住宅11件^{けん}，港湾施設^{こうわん し せつ}14件，水産施設・漁船95件，商店26件，その他73件^{そう ひ がいけんすう}の総被害件数が219件ありました。花咲港の津波到達時刻は15時17分で，最大波は286cmありました。

③ 地震のそなえを調べよう

●市役所の取り組み

ア．根室市の防災計画

北海道地いき防災計画では，根室市に被害をおよぼすと考えられる海溝型地震^{かいこうがた}が，根室半島沖，釧路沖，十勝沖での地震活動はきわめて多いとされています。これまでもマグニチュード8クラスの巨大地震をはじめ，マグニチュード7クラスの地震が発生し，地震，津波による大きな被害をおよぼしています。

東日本大震災（平成23年3月11日発生）をふまえて，国，道などが発表する最新の地震・津波想定^きを基本^{ほん}とし，根室市における地震災害対策^{たいさく}に取り組んでいくために，これまでの『根室市地いき防災計画』を平成25年8月に全面修正しました。

イ. 地震へのそなえを市民によびかける

学校や幼稚園で防災教室の出前講座をしたり，地いきで自主防災組織をつくり，防災訓練をしています。



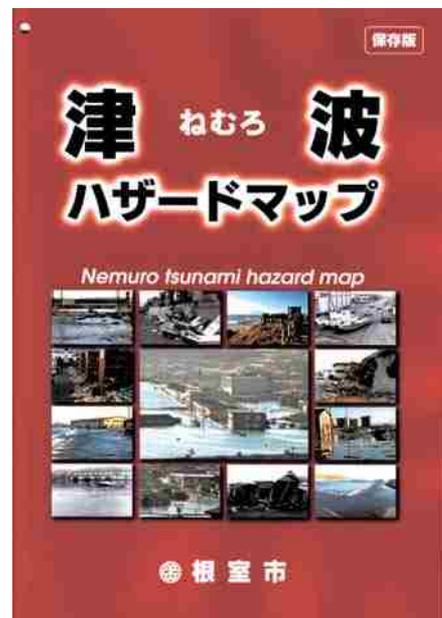
小学校での津波の授業



救命救急教室

ウ. 地震の予知に関する情報を伝える

津波ハザードマップを作成し，住民に配布しました。平成25年11月には，改訂したブックタイプ（A4）の津波ハザードマップを配布しました。



津波ハザードマップ

エ. 災害に強いまちづくりをする

沿岸の地域を中心とした電柱100ヶ所に、避難行動時の目安や防災意識の向上を図ることを目的として、
海抜表示板を設置しています。

平成24年5月末に設置を完了しました。



海抜表示板

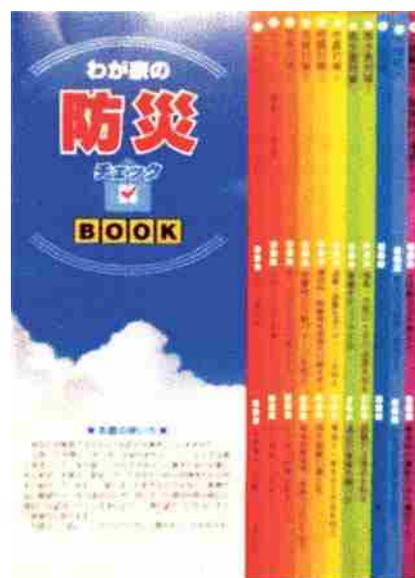
(標高ごとに色分け 赤：～10m、黄：10～20m、青：20m～)

オ. 避難のための設備を整える

地震への備えとして、各避難場所に備蓄品（毛布・水・衛星携帯電話・発電機など）が置いてあります。

●市民がすること

「根室市津波ハザードマップ」や防災に関する資料を参考に、家庭で防災について話し合ったり、非常持出品を準備したりしましょう。



わが家の防災チェックブック

(4) 海の安全を守る

わたしたちが住んでいる日本は、まわりが海で囲まれています。海の上では、魚をとる漁船や荷物を運ぶ貨物船などのたくさんの船が仕事をし、わたしたちの生活を支えています。

海で事故が起きたときに船や人を助けたり、海でのはんざいを取りしまったり、船が安全に航海できるようにする役目が海上保安庁の仕事です。



① じゆんし せんてい 巡視船艇

巡視船「くなしり」

わたしたちの根室市にある太平洋や根室海峡では、根室海上保安部の巡視船艇が24時間、365日パトロールしています。



巡視艇「ゆきかぜ」

巡視船艇は、事故が起きたときにすぐ駆けつけられるように、速く走ることができたり、小型のボートを乗せていたり、船の火事を消すための装置が取り付けられています。

※大きい船を「巡視船」、小さい船を「巡視艇」と呼んでいます。

また，流氷の海でも氷を割りながら航海することができる巡視船もあります。

② 海の道しるべ ～灯台～

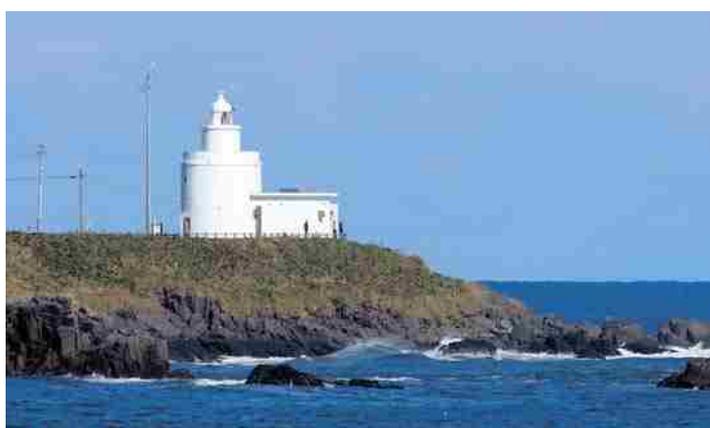
灯台は，船が海の上で自分の位置を確認したり，危険な浅瀬^{あさせ}をさけたりするための「目印」です。夜になると光が点めつし，遠くはなれた海からでもわか



巡視船「てしお」

るようになっていきます。光が点めつするかんかくや，光の色などが灯台ごとに違っているので，どこの灯台が光っているのかがわかるようになっていきます。

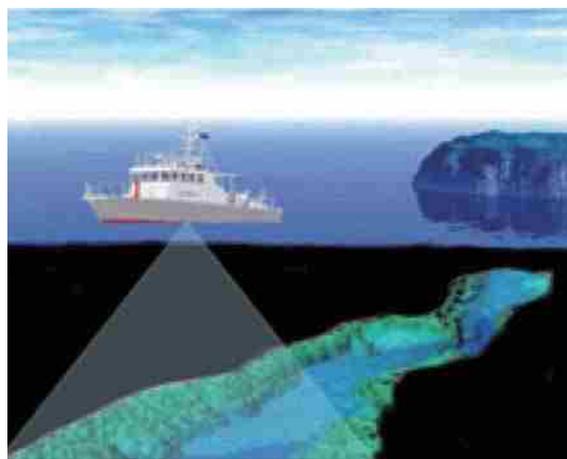
根室市には，「納沙布岬灯台」や「花咲灯台」，「落石岬灯台」などの大型の灯台や，漁港の入口にある赤色と白色の小型の灯台など，たくさんの灯台があります。



北海道で一番歴史のある「納沙布岬灯台」
(明治5年建設，リチャード・ヘンリー・ブラントン設計)

③ 海の地図 ～海図～

船が安心して航海するために、港や灯台の位置、海の深さなどが書かれた地図のことを「海図」といい、船で航海するには欠かせないものです。



レーザービームで深さを測る

海図を作るために海の深さを測ったり、海底の地形を調べたりすることも海上保安庁の重要な仕事の一つです。

④ 海のもしものは「118番」

海難事故や事件がおきたときは、「118」番に電話します。電話は海上保安庁の運用司令センターうんようしんらいにつながるのので、落ち着いて「いつ、どこで、何があったのか」をはっきり伝えましょう。

